

Architects' style

建築士 こおりやま No.59 平成30年3月発行



東京研修・京都全国大会を振り返る!



郡山支部活動前! 原稿募集!

～目 次～

2 ページ 福島県建築士会郡山支部見学会 菅野 哲司

4 ページ 第60回 建築士会全国大会 京都大会 参加レポート

絆建築設計 鈴木 順子

6 ページ 支部ホームページまもなく始動 今泉 雄二

8 ページ 支部ホームページ原稿募集のお知らせ&編集後記

福島県建築士会郡山支部見学会

去る10月1日と2日にかけて私達福島県建築士会郡山支部は以下の施設などを見学してきました。

- 東京農業大学「食と農」の博物館
- 清水建設本社見学
- 国立新美術館安藤忠雄展
- 虎ノ門ビル見学

郡山駅からバスに揺られる事4時間半、降り立った東京は晴天、上着もいらぬほどの快適な気温でした。

■東京農業大学「食と農」の博物館

ここは有名な建築家隈研吾氏の作品です。前面にはケヤキ並木、その後ろにどっしりと構えるミュージアムは農業大学らしくエイジングがテーマとされており芦野石など、年月が経つごとにその色が変化する自然素材を使用しているそうです。

中に入ると121点の鶏の学術標本、そして280本の酒瓶のライトアップは圧巻で酒好きなメンバーは大盛り上がりでした。

東京農業大学には日本唯一の醸造科学科があり、その卒業生が営む蔵元から取り寄せた酒瓶だそうで、大学そして卒業生の絆をこの展示から垣間見る事が出来ました。



■清水建設本社見学

本社ビルの大きさ、内部空間の広さ（柱のない大空間オフィス）、働いている人の多さに圧倒されると共に、省エネと快適性を両立し、地球環境に配慮した、災害に強い建物だと感じました。

またここでは免震装置の見学も行いました。小さな建築しか関わりのない私には初めての免震装置体験でした。

■国立新美術館安藤忠雄展

私が学生のときに憧れた安藤忠雄さんの作品の展覧会です。安藤さんのお蔭で私は建築士になったと言っても過言ではありません。昔見に行った「光の教会」が原寸で再現され模型やスケッチ、ドローイングなど、総計200点余りの設計資料が展示された見応えのある展覧会でした。

■清水建設の建設中の現場「虎ノ門ビル見学」

今回はビルの地下部分の最先端工法による建設工事現場を見学させていただきました。

施工面積223,715㎡、最高高さ179.95m、最高深さ22.0mと現場の規模が大きすぎて私にはかなり現実離れな感があったのですが、その反面、ものづくりをする人間として純粋にスゴイと思いました。

<この見学会で得たもの>

清水建設の設計者にB I Mの活用状況についてレクチャー頂いたのが非常に参考になりました。ご存知の様にB I Mとは、Building Information Modeling（ビルディング インフォメーション モデリング）の略称で、コンピューター上に作成した3次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを、建築の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で情報活用を行うためのソリューションであり、また、それにより変化する建築の新しいワークフローです。

私自身、まだ利用していないのですが、数年後には自分たちも利用するようになるのだろうと話をお聞きして感じたものでした。

<最後に>

虎ノ門ビルの建設現場などは規模が大きすぎる事、最先端過ぎる事などすぐに私の業務に直結しそうにはありませんでしたが、同じ建築関係の仕事で立派な仕事をされている人に触れてとても刺激を受けました。そして大小関わらず、私も地元でいい仕事をしようと再認識した2日間ではありました。

参加者の皆さん、お疲れさまでした。



第60回 建築士会全国大会 京都大会 参加レポート

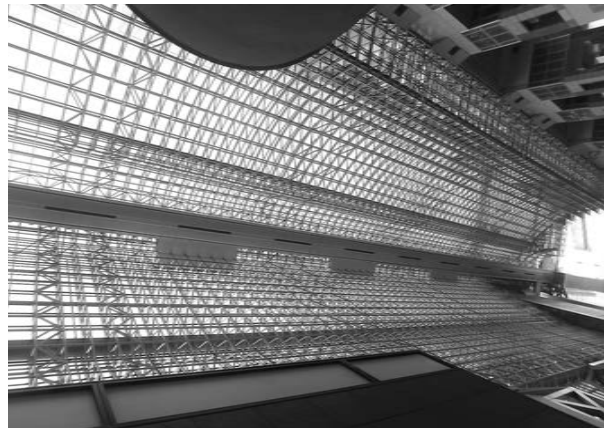
絆建築設計 鈴木 順子

去る2017年12月7日～9日、第60回建築士会全国大会が、京都府京都市勧業館「みやこめっせ」をメイン会場とし、「山とまちと木造建築」をテーマに、記念フォーラム、大会式典、交流セッション、18コースの地域交流見学会（エクスカーション）が開催された。

郡山支部からは総勢25名が参加し、12月8日～10日の日程で京都、大阪を巡った。

8日7時20分郡山駅に集合し新幹線に乗車、12時前に京都駅に到着した。駅構内なぜか皆、足元ではなく、ホテル棟と百貨店棟を結ぶ中央コンコースの鉄骨造と4000枚のガラスが貼られた天井部分に目が行く。「設計は原広司」「施工は大林組・鉄建のJV」という会話が飛び交う。1997年竣工の高さ60mの斬新なデザインは、20年経った今も全く古さを感じさせない。新しいものと歴史あるものが調和をもって共存する京都の玄関口にふさわしい建物であると感じた。

全国大会会場では京都支部女性スタッフの着物姿に出迎えられた。3階の第3展示場では記念フォーラムとして京都府建築士会が3年間にわたって積み重ねてきたテーマ「山」「まち」「木造建築」について、3名のリリーススピーチが行われていた。オープニングセレモニーでは、番匠保存の会による無言の神事「鉦（ちょうな）始め」が厳かに始まり、会場内は引き締まった雰囲気「静」の空間に一変した。平安時代から番匠（御所勤めの大工）により安全を祈願するために新年や建築現場での仕事始めの時に行われていた儀式で京都で行われるものが原型とされている。古式ゆかしい儀式を觀賞した。次に室町時代より山から木を伐り出す杣匠（そまたくみ）の労働歌「京木遣（きやり）」を聴いた後、大会実行委員長による大会宣言、挨拶、祝辞と続き、表彰式では、高橋孝行郡山支部長が連合会会長表彰をされた。大会アピール、次期開催地の埼玉建築士会に大会旗が引継がれ、会長挨拶後、閉会となった。会場を後に、八坂神社近くの旅館に宿泊した。



9日バスに乗り、豊臣秀吉を想った妻ねねが亡夫をともらうために開いた「高台寺圓徳院（えんとくいん）」へ。国の史跡・名勝に指定されている桃山時代を代表する庭園の石組は見事であり、特に、最も眺めの良い高台には利休の意匠による茶席と言われ伏見から移建した、天井が竹で放射状に組まれた「傘亭」と、珍しい2階建ての茶室「時雨亭」を見学。所々に解説をしてくださる方がおり、観光地京都のおもてなしの心に触れた。

次に訪れた世界文化遺産「東山慈照寺（俗称 銀閣寺）」は、波紋を表現した銀沙灘（ぎんしゃだん）と白砂の富士山型の向月台（こうげつだい）、



展望所からの眺めは四季おりおりが自然空間に巧みに取り入れられており、魅了された。昼食は地元のバス会社お勧めの京料理とおばんざいの料理屋で豆腐料理を堪能した。「相国寺」では秋の特別拝観として普段見られない方丈（ほうじょう）と開山堂（かいさんとう）、重要文化財の法堂（はっとう）を拝観した。天井には狩野光信によって描かれた蟠龍図（ばんりゅうず）が広がり、どこから見ても龍と目があう不思議と、柏を打つと龍が鳴く不思議な現象を一人一人体感した。また、方丈室内に展示されている観音菩薩画像の絵柄は、すべて法華経の経文によって描かれた文字絵となっており「法華観音」と呼ばれる由縁を知ることができた。



京都駅から大阪市梅田駅近くの宿泊先まで、荷物を持ち電車とタクシーを乗り継ぎ移動の予定でしたが、急遽、終始楽しく観光ガイドをしながら運転して下さる運転手さんの提案もあり、そのままバスで移動となった。チェックインを済ませ夕食会場までは電車で梅田駅から動物園前駅へ、2度漬け禁止の申揚げを堪能。店を出ると目の前には“通天閣60周年”の垂れ幕が下がっており、皆で「通天閣」に登り夜景を楽しんだ。新世界界限は、飲食店が立ち並び、店頭にピリケン像、外壁からせり出した蟹やふぐの張り子の看板が勢いよく掲げられ、とても賑やかで活気があった。

10日、梅田駅から電車で天王寺駅へ駅構内のコインロッカーに荷物を預け、大阪市阿倍野区に竹中工務店JV施工の2014年3月に開業した超高層ビル、日本一の高さを誇る「あべのハルカス」へと向かった。高さ300mを分速360mで一気に駆け上がるEVのスピードと振動のなさに、日本のEV技術を誇りに感じた。60階の天井回廊は、360度足元から天井までガラスを配した屋内回廊で一部ガラス床となっており、空中を散歩している感覚を体感できた。また、58階の天空庭園では上空まで吹き抜け構造の屋外広場となっており澄み切った青空を肌で感じる事ができた。驚いたのはトイレまでもガラスが配されており、設計者のこだわりを感じた。



天王寺駅から電車で新大阪駅に、昼食をとり新幹線に乗り。車内では旅の思い出を振り返り写真を見たり、LINEを送り合ったりと、終始楽しい会話が飛び交っており、郡山駅に18時5分予定通り到着し、全員集合して挨拶を交わし解散となった。

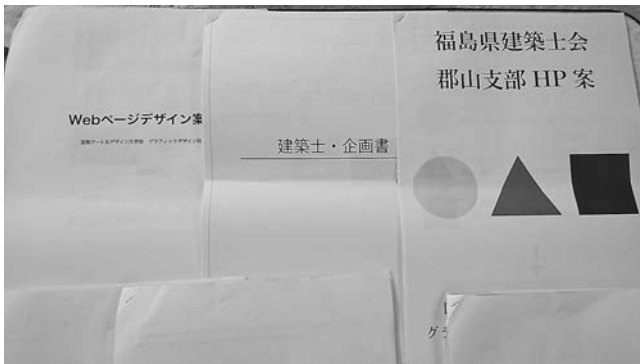
今回、参加させていただき、京都・大阪を巡る事で、幸いにも戦禍を免れた京都の木造建築の良さと魅力、自然の美しさと建築がつくり出す“まちなみ”景観に触れる事ができ、文化や暮らしに深く関わりのある建築士としての役割をじっくり考える良い機会となりました。

結びに、今回、企画・準備・運営に携わっていただいた役員の方々と、快く送り出して下さったご家族の方々にも感謝申し上げます、参加レポートと致します。

支部ホームページまもなく始動

前号でご報告させていただきました郡山支部のホームページ制作ですが、昨年9月上旬に国際アート&デザイン大学校 グラフィックデザイン科の先生と生徒さんへ素案の作成の協力をお願いし、11月下旬ホームページの素案ができあがったと連絡がありました。12月上旬に国際アート&デザイン大学校にて、高橋支部長、情報・広報委員会の委員長、副委員長の出席で生徒たちによるプレゼンをしていただきました。

10名の生徒たちのプレゼンを聞き、完成度の高い内容のものや発想の豊かさなど、それぞれ関心させられる内容でした。



12月中旬、事務局にてプレゼン10案の中から、高橋支部長、情報・広報委員会の審査により厳選の上、3案に絞り優秀作品を決定する予定でしたが、3案それぞれの持ち味を生かし良い部分のデザインの組み合わせにより制作するという事で決定しました。

後日、デザイン会社に最終の仕上げを依頼しました。



今年1月中旬、国際アート&デザイン大学校にてプレゼンしていただいた生徒たちへの感謝の気持ちをこめて、厳選した3案にデザイン賞・アイデア賞・支部長賞として、それぞれの生徒へ賞状と記念品を渡し、その他の生徒たちへ参加賞を渡しました。



3月上旬、デザイン会社より概ねのホームページが出来てきましたので、トップページと一部を掲載いたします。

平成30年度から会員の皆様がアクセス・活用できるようになりますので、ご期待下さい。



支部ホームページ原稿募集のお知らせ

着々と製作が進んでおります支部ホームページに掲載予定記事の原稿を募集致します。
募集原稿と詳細は以下の通りです。

<会員紹介ページ>

- ① 会員の氏名
- ② 会員より一言（160文字程度：内容不問）
- ③ 写真（極力本人の写っている物。正面を向いているかは不問）
- ④ 勤務先名と所在地、電話番号（掲載を希望しない場合も明記して下さい。）
- ⑤ 勤務先、自分のブログのURLやEmailアドレス等

※④、⑤は掲載を希望しない場合、その旨を明記して下さい。

<TOPページに掲載する写真>

「会員が製作や施工に参加した建築物、工作物で、建築主によるホームページ掲載への許可のある物」の
図面、模型、内観、外観等の写真

ランダムに掲載写真を替える予定ですが、全ての応募写真掲載を保証するものではありません。あし
からずご容赦下さい。

<応募方法>

上記のどちらに対する応募なのかを明記した上で、メールにて事務局宛に送信して下さい。

写真は必ずデータ自体をメールに添付して送信して下さい。Word等に貼り付けたデータだった場合は、
掲載データ形式の都合上、応募無効とさせていただきます。

郡山支部事務局 Emailアドレス:info@kenchikushi-koriyama.com

原稿は随時受け付けておりますので、沢山のご応募、お待ちしております。

福島県建築士会郡山支部 情報・広報委員会

編集後記

建築物省エネ法が完全施行されて1年、水道凍結、給湯器凍結破損など数年一度の寒い冬が間もなく終わる。暑くなると予想される夏にむけて、少しずつ省エネ建物に関心が集まると思われる。

先日、建築士会主催の省エネに関する講座があった外皮性能、開口部、断熱などなど、そこへ2時間に一度の全換気の義務、さらにエネルギーコス

トを掛けての全熱交換機の使用推進・・・品確法、シックハウス法、省エネ法・・・答えが見つからない

たつた

福島県建築士会郡山支部

郡山市大町一丁目2番23号KKBビルW22(西2階) TEL&FAX 935-2151